



「人と人とのつながり」はここから

町内会で顔見知りの関係をつくりませんか

町内会は、誰もが安心して暮らせる地域をつくるため、日々さまざまな取り組みを進めています。町内会への参加を通じて地域住民同士のつながりを持ち、できることから活動してみませんか。

問い合わせ 市民活動課（市庁舎3階、☎65・4130）



町内会の加入申し込みはこちら▶

町内会が取り組んでいる活動内容を紹介します！

（工夫しながらできることを実践しています）

防災

- ・自主防災組織の結成
- ・防災訓練の実施
- ・防災マップの作成
- ・防災用品の備蓄



環境・美化

- ・ごみステーションの設置や維持管理
- ・資源集団回収
- ・公園やチビツ子広場、植樹の維持管理



防犯・交通安全

- ・防犯灯の設置や維持管理
- ・防犯・交通安全パトロール
- ・通学路における子どもの見守り



親睦・交流

- ・各種親睦行事の実施（お祭り、盆踊り、花見、観楓会、運動会、パークゴルフ大会など）
- ・高齢者サロンの開設



福祉

- ・子ども会活動
- ・老人会活動
- ・独居高齢者の見守り
- ・除雪困難者宅前の除雪活動



情報の伝達

- ・広報おびひろの配布
- ・町内会だよりの作成
- ・チラシ配布などによる地域情報の共有



できることからはじめよう

帯広市町内会連合会
会長 高宮 裕さん



町内会は、地域住民の組織であると同時に、一人ひとりの能力や経験を生かし、地域社会に貢献する足掛かりとする所でもあります。

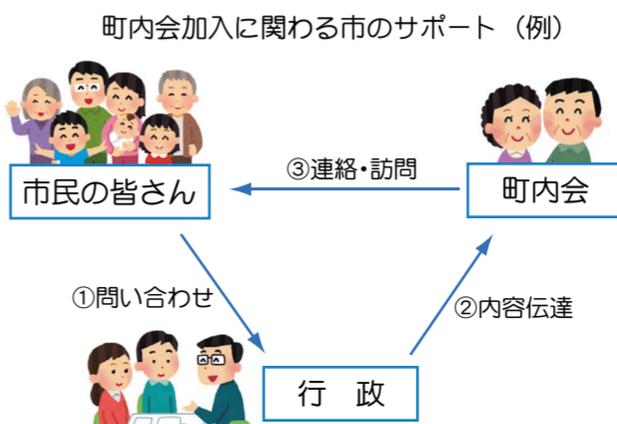
帯広市においても少子高齢化が進行していますが、最近では医学の発展から、嬉しいことに健康なシニア世代が多くなっており、元気に活躍しています。

これらの人々の能力や経験をお借りして、若い世代の力と合わせて、地域を活性化し、住みよい町づくりにつなげるようにしていけたらと思います。

現在あまり町内会活動に関わりのない人でも、できることから少しずつでも構いませんので、町内会活動に参加してみませんか。

人と人の結び付き、地域の絆を一緒に深めていきましょう。

町内会加入に関わる市のサポート（例）



町内会活動に参加しませんか？

市では、市民の町内会加入を促進するため、市外から転入した人、市内で転居した人、現在までに町内会に未加入の人などで、新たに町内会加入を検討している人に対し、町内会役員との連絡を仲介するなどのサポートを行っています。「加入したいが、町内会長の連絡先がわからない」「加入を検討するために、会費などの町内会のルールや、ごみステーションの場所を確認したい」などの相談は、電話で市民活動課まで問い合わせるか、右上の二次元バーコードを読

み取り、必要事項を入力の上、送信してください。住んで良かったと実感できる地域をつくるには、皆さん一人ひとりの力が重要です。ぜひ、町内会の意義を改めて理解し、できることから参加・活動してみませんか。

町内会を取り巻く現状

町内会の役割が多様に存在する一方で、加入者の数は年々減少傾向にあり、人手不足や高齢化が進行しつつあります。また、特定の住民に負担が掛かり、行事の開催や日常の活動も困難となるなど、運営に苦慮する町内会が増えてき

近年、ライフスタイルの多様化に伴い、人と人とのつながり方や関わり方が変化し、人間関係が希薄になってきたといわれています。また、コロナ禍の影響もあり、近所付き合いが減少している人も多いのではないのでしょうか。しかし、安全・安心で豊かな暮らしを営むためには、住んでいる場所での近所付き合いなど、「顔の見える関係づくり」が大切です。

町内会が支える地域の安全・安心

町内会は、住民が互いに支え合い、助け合いながら住み良い地域をつくるために組織された自主的な活動に取り組んでいます。例えば、生活道路などを照らす防犯灯やごみステーションの維持

現在、市内には763（令和3年2月末現在）の町内会があり、日常生活に密接に関わるさまざまな活動に取り組んでいます。

町内会加入を検討している人に対し、町内会役員との連絡を仲介するなどのサポートを行っています。「加入したいが、町内会長の連絡先がわからない」「加入を検討するために、会費などの町内会のルールや、ごみステーションの場所を確認したい」などの相談は、電話で市民活動課まで問い合わせるか、右上の二次元バーコードを読